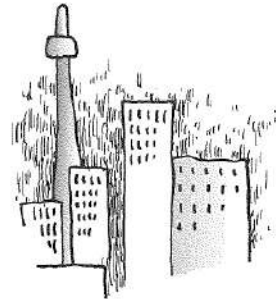


第42話 「言い回し」
in the shade of family tree
木陰の物語
田 士郎

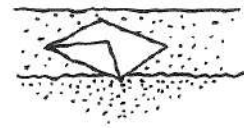
あまり考えたことが
ないことだった。



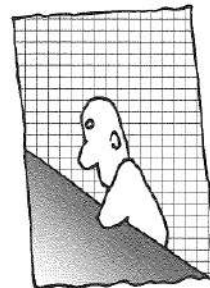
日本の現実が
上手くいっているとはいえない。



自死を選ぶ人の数は、
相変わらず
世界トップレベル。



鬱病に悩む人も多い。



ストレスフルな人生だと
感じている人はもっと多い。



これは今の社会が
人々にとって
上手く構成されていない
ということだろう。

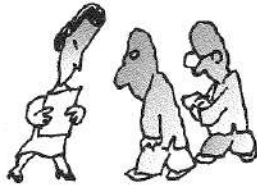


ところが、現実には甘くない。
社会は厳しいと語る人も多い。



ちよと待ってんね。

その現実
はなの
非なの
か？



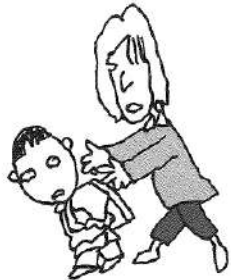
もし非であるならば、
現実を敵しているはなく、
現実が酷いと
語られるべきだ。



変化を起こすためには
何をすればいいかが
語られなければならない。



現実に押しつぶされそう
な子育て中の人に会う。



過去の傷ついた自分を思い、
子どもには
そんな思いをさせまい
と力む。



しかし、
そこで考えているのは、
我が子は損をしないように
という発想だ。



それこそ、
自分がやってきて
失敗した発想ではないか。



なのに、
それを
指摘されると怒る。



現実とは
理想論を
語っていると、
酷いことになるよ

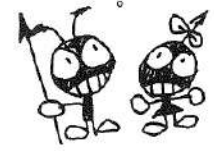


我が子を
説得している
らしい。

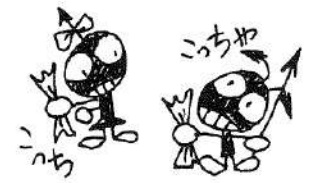
理想をいついた人は、
本当に駄目になって
いるのだろうか？



そんな調査、
聞いたことがない。



現実とは
関係ない
信念の
選択である。



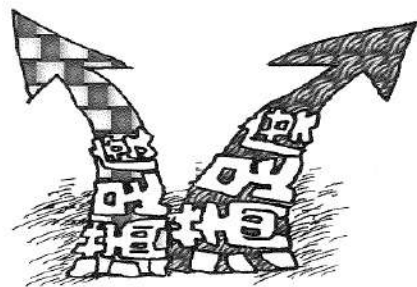
そこで最初に戻るのだが、
上手くいっていない人が、
現実を厳しいと語るのは、
妥当だろうか？



夢を
語る人と、
現実を
踏まえる人、



どちらの未来が
より満足度が高いかなんて、
誰も知らない。



上手くいっていないから、
厳しいと語っているだけ
ではないのか？



上手くいっていないなら、
先ず
変えればいい。



現実を厳しい
と語る人が
その世界を生き、



理想は大切だ
と考える人も
その世界を生きる。



「どうしたら
必ず上手
になれるのか？」
という問いは、



上手くいっていない人は、
発しない方がいい。

それさえ
了解できたら、
変化は可能だ。



結局、
どちらも大差ない世界を
生きることになる。



どちらを採用するかは、
その人次第。



変えられない人が、
文句ばかり言って
責任転嫁している。



何も始めないで、
何かが始まると思うのは
妄想だ。

